
まるまると俺

無問題

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まるまると俺

【Nコード】

N4679P

【作者名】

無問題

【あらすじ】

日に三度死ねるだけを取り柄の佐野悠真。

模造品や怪力や狂信者や厨二や陰陽師や元勇者や腐女子や妖怪や悪魔や何やに囲まれて、愉快でカオスでほのぼのな毎日を生きる。

「え？ いや、このメンツで穏やかほのぼのな毎日とか、無理でね？」

朝と俺（前書き）

魔王様に大した活躍もさせぬまま、別の話を書こうという無謀。

魔王様もきちんと更新するつもりですので、生温かく見てやってください。

朝と俺

朝。

爽やかな、というには眠気が後を引く、気だるい朝。

ぼけえーと無精髭の生えた親父のように目を覚ました俺、佐野悠真。でかい欠伸をかまし、ボリボリと頭を搔いた後、なんとなく見る手は若々しい十代のもの。

ぐっばしようが、睨んでみようが、それは相も変わらず若さを保ったままで、一抹の虚しさが込み上げてくる。

産まれた時から、俺はいつも死に直面してきた。

第二次世界大戦開始直後、1940年7月9日に俺は生まれた。

日々日々、周囲を侵食していく死に、俺は常に恐怖し、身を竦めていた。

戦争が終われど死は俺の周りから消えることなく纏わりつき、死の恐怖に取り憑かれた俺は、少しずつ、少しずつ壊れていった。

それは、生まれたその瞬間からの崩壊だったのか、それとも、餓えにより両親が死んだ5つの時だったのか。

俺が思うに、崩壊は生まれたその瞬間から始まっていて、なおかつ、両親の死を見た5つの時、それが加速したのだろう。

毎日毎日毎日毎日、俺は山奥の小さな祠へと足を運んだ。

毎日毎日毎日毎日、俺は死の恐怖からの解放を願った。

だからだろうか。

ある日、俺は物取りに殺された。

しかし、俺は生きていた。

しっかりと心臓を刺され、黒くなる意識の中、何かの喘い声のような音と共に聞こえたあの言葉。

――日に三度の生を与えてやろう。

その日から、俺は死んだが生きていた。

餓えて死んだ時も、事故で死んだ時も、暴徒に殺された時も。

俺は生きていた。

そして俺は理解した。

俺は一日に三度、死ぬことができる。

俺は一日に三度死ななければ、死ぬことができない。

そののせいかは知らないが、俺の体は歳をとることを止めた。

いや、気の遠くなるほどの時間はかかるが、それでも髪や爪が僅かに伸びる事を考えれば、実は人間とはかけ離れたほどのペースでゆっくりと歳をとっているのかもしれない。

しかし、少なくとも俺は自身の体に対し、成長の二文字を見出すことができずにいる。

大分頭がすっきりしたところで、俺は布団を出、足が纏れて布団に突っかかって顔面スライディングを決める。

「いゝっ！~~~~っ~~~~！！！！」

顔面に鈍く存在を主張する痛みに、全身を使い悶えることで答えつつ、脳裏に浮かんだある猫被り暴君の呆れ顔を頭から振り払う。

こんなシーン見られたら絶対馬鹿にされる。失笑される。

というかあの人の事だから多分、朝飯食いに降りたら絶対酒を片手に嘲笑してくる。

そうに違いない。

これから先に起こるであろう事態にうんざりしつつ、しかし、俺がこうして長い時を、同じ姿で生きていながらも狂わずにいられた、こうして、つまらない事態を憂うことができる生活を俺にくれたあの人に感謝の念が湧きおこる。

無駄に歳とったおかげか、俺も一々感慨深く物事を捉えるようになったようだ。

ほう、と一つ息を吐いて俺は立ち上がる。

ドアに手をかけたところで目覚ましがけたたましく鳴き、ビビって慌てて目覚ましに駆け寄ったら布団に足を取られて顔面スライディングした。

……………くそう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4679p/>

まるまると俺

2010年12月13日02時26分発行